

平成28年6月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312
E-mail: sizurosi@vesta.ocn.ne.jp
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

しづ老施協

卷頭言

会長としての抱負

誇りが持て魅力ある介護職の確立と新しい視点に立った委員会活動をしましょう



静岡県老人福祉施設協議会
会長
石川三義

これまでの4期、老施協の会長として県内の老人福祉施設の連携強化を図りながら、様々な課題に取り組んできましたが、引き続き平成28年度から2年間静岡県老人福祉施設協議会の会長を務めさせていただくことになりました。微力でありますが、県老施協の健全な発展と高齢者福祉・介護の向上のために全力で努力していく所存ですので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

さて、今回の社会福祉法の改正は、社会福祉法人制度の改革と福祉人材の確保の促進の2つが柱であります。法人の制度改革では、社会福祉法人が公益財団法人と同等以上の公益性を担保する経営組織であることや地域社会に貢献するあり方を明確化したものです。福祉人材確保対策では、介護職がいまだ3Kの負のイメージを持ち、介護人材確保が大都市圏だけでなく地方都市圏でもきわめて困難を極めていることからの国の政策提言であります。

私たちは、介護人材確保に関して国や県の政策を待つだけではなく、自らの努力で介護職員のモチベーションを高め、介護職に誇りと自信が持てる職場づくりを創り出し、介護の魅力を常に社会に情報発信していくことが肝要であると言えます。会員の皆さんと共に介護の仕事を、誇りと自信が持て魅力ある仕事にしていきましょう。介護職のプライドが介護の仕事のレベルを格段と高めていくことと考えます。

現在、老施協の各施設・各在宅事業を取り巻く環境は極めて激しい競争にさらされています。介護保険関係の在宅事業や高齢者住宅の分野にはドラッグストアーやコンビニ大手、スーパー、鉄道・ホテル関係の企業などの異業種が特にデイサービスとケアマネ事業所で相次いで参入し、社会福祉法人と民間企業との競争が激化しています。私たちは、このような状況下で、老施協の一一致団結と在宅委員会の機能を強化し、老施協のこれまでの福祉施設中心の発想から在宅福祉と施設福祉との協調の時代に転換して、多くの在宅事業の問題を総体的に議論して、在宅事業の推進を図ることが必須であると考えます。公益性のある社会福祉法人としては、地域支援事業への移行を推進し、地域包括ケアシステムの構築に向けて中心的役割を果たしていくことが求められます。また、研修委員会では、単年度だけの研修で終わりではなく、複数年の研修を組み継続してステップアップする研修を検討してはどうかと思います。老施協の各委員会には、新しい視点に立った活動を積極的に展開していただくことをお願いいたします。

最後に、県老施協としては、今後も時代・社会の変化やニーズに機敏に対応し、諸課題に迅速に対処していきますので、会員の皆様をはじめ県市町行政機関及び各種関係団体のご理解とご支援を切にお願い申し上げる次第です。

特集1

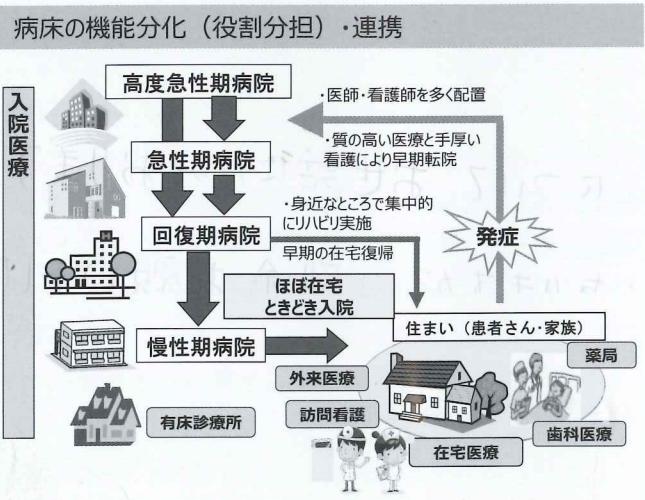
医療と介護の連携について

～地域医療構想と地域包括ケアシステムの推進～

静岡県健康福祉部理事 壁下 敏弘



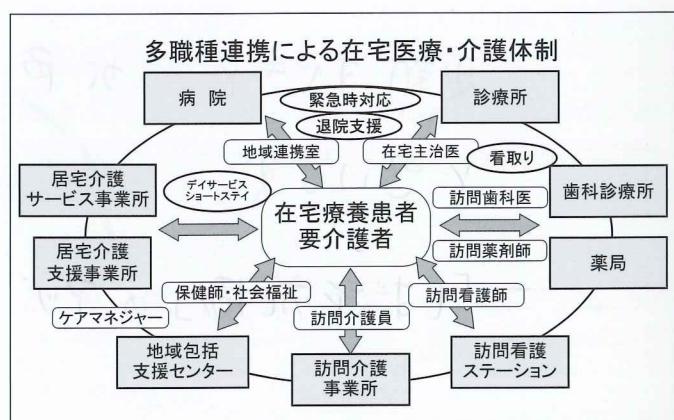
現在、団塊の世代の全ての方が75歳を迎える2025年（平成37年）を見据え、地域における医療と介護の総合的な確保に向けた改革が進められています。人口減少、少子高齢社会において、医療・介護ニーズの大幅な増加が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域でそれぞれの状態に応じた適切な医療・介護サービスを将来にわたって持続的に受けられる体制を確保するため、「効率的で質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」を「車の両輪」とした取組が始まっています。



県では、「医療提供体制の構築」に関して、今年3月に「静岡県地域医療構想」を策定しました。この構想は、地域において急性期の入院から回復期（リハビリ等）を経て、在宅医療・介護まで、一連のサービスを切れ目なく確保するため、地域の現状、課題及び医療需要の推計等を踏まえつつ、将来（2025年）のあるべき医療提供体制の将来像（ビジョン）を明らかにしたもので、構想では、「在宅医療等」の中に、自宅だけではなく、特別養護老人ホームや老人保健施設等における医療提供も「必要量」として含まれております。

す。構想実現に向けて、県内8圏域においては、病床機能の分化と連携、受け皿となる在宅医療等の充実のための取組を本格化させていきます。特に、在宅医療等の充実のためには、訪問診療・看護の充実とともに、在宅を支える介護サービスとの一体的な提供、すなわち「医療と介護の連携」が不可欠です。皆様の御協力をお願いします。

また、「地域包括ケアの構築」に関しては、現在、各市町において、基盤整備のための在宅医療・介護連携、認知症施策推進等の地域支援事業の強化の取組が行われています。残念ながら今のところ、市町で取組に差もみられますが、平成30年度には、すべての市町における実施が義務付けられており、次期介護保険事業計画、介護報酬の改定も予定されているため、地域包括ケア構築の取組が加速していきます。皆様には、是非、地域に密着した事業を展開するなど地域を牽引していただきたいと考えております。



超高齢社会においては、地域の医療・介護関係者が、いかにも有機的に結びつき、一体となって、支援が必要な方々へ適切に医療・介護サービスを提供する体制を確保できるか、地域の力が試されます。県といたしましても、医療と介護の総合的な確保に全力で取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

特集2

介護人材確保のためのPR事業

『介護の魅力倍増セミナー～先輩から聞く介護の実際とやりがい～』の開催

21世紀委員会 副委員長 増田公基

21世紀委員会では、平成27年12月と28年2月の2回にわたって『介護の魅力倍増セミナー』を開催しました。

このセミナーは、平成26年度当初の委員会で、21世紀委員会として取り組めることは何かを議論し、今介護現場で深刻化する人材不足に対処すべく、人材確保に貢献できる行動を起こそうと決意したところから始まりました。

まず活動の方向性について議論をしました。人材確保対策は行政や社協なども行っていますので、老施協として行うからには、老施協の強みを活かし差別化したものにしたいと考えました。その結果、広く一般的な広報活動を行うのではなく、一部の老施協会員施設が持つ介護職養成校とのつながり、施設介護実習の受け入れや継続的な採用などで培った信頼関係を活かし、施設と養成校の情報交換や交流をさらに活発化させることで、施設ごとのつながりから老施協全体のつながりへと強化拡大し、老施協会員施設全体への就職者数を増やすことを目指すこととしました。



そして、最終的にはセミナーを開催することを念頭に、介護職養成校の生徒と教員を対象に、①施設介護実習の充実度・改善希望事項など、②就職先選定の意識・重要度など、③セミナー開催にあたっての関心事・参加意欲などを、を調査するアンケートを県下7養成校の協力のもと実施しました。

アンケート結果から、介護業務や介護施設の紹介、

介護実習に関する事項よりも、若手介護職員の本音を聞くことに関心が高いことが、また開催会場は、公共施設や介護施設より学校内を希望する生徒が多いことが分かりました。そこで、セミナーは講義とパネルディスカッションの2部構成とし、講義には「さぎの宮寮」の高杉尚志さんが、パネルディスカッションはコーディネーターとして「八生会法人本部」の藤田将行さん、パネリストとして会員施設の若手職員5名が担当する形で行うこととしました。



第1回は27年12月8日、浜松医療福祉専門学校の協力を得て、会場をお借りするともに授業として扱っていただき50名の参加を得て開催、第2回は28年2月6日、広く参加を募る意味で浜松中央長上苑を会場として、やはり近隣の浜松修学舎高等学校が授業として扱っていただき、修学舎高校を含む3養成校から33名の参加を得て開催し、2回合わせて4養成校83名参加のセミナー実施となりました。

開催後には、92%の参加者がセミナー参加に満足し、78%の参加者が社会福祉法人の介護施設で働きたいと感じており、セミナーは成功だったと感じています。また、今後は、中部・東部地区へもこのセミナーを広めていくとともに内容の充実を図っていきたいと考えています。協力いただいた介護職養成校および会員施設の皆様に感謝いたします。

(浜松中央長上苑 施設長)

新人職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

和みの郷

(沼津市)

- ① 井澤理沙・介護職（社福士）
- ② 利用者に名前で呼んでもらえたこと
- ③ バナマンの設楽
- ④ 半分貯金、半分で旅行（スペイン）
- ⑤ 利用者や職員がずっといたいと思える施設にしたい



久能の里

(静岡市)

- ① 松井香織・介護職
- ② 徐々に利用者様に名前と顔を覚えて頂き、色々なお話が出来たこと
- ③ 堀北真希
- ④ 彼氏とゆっくり旅行
- ⑤ 笑顔で楽しく信頼される職員になり、毎日でも来たいと思って頂ける様な施設



西島寮

(浜松市)

- ① 池谷恵美子・介護職員
- ② 娘が中学生になった事。
- ③ 阿部サダヲ（俳優）
- ④ 家を買う。半分貯金。
- ⑤ 利用者様・職員が共に楽しく過ごせる施設。



すどの杜

(富士市)

- ① 古谷野梓・施設事務
- ② 5ヶ月の娘が寝返りできたこと
- ③ 西野カナ
- ④ 家族と世界旅行
- ⑤ 利用者さんの笑顔が沢山みられる施設にしていきたいです! (^_^)!



住吉杉の子園

(榛原郡吉田町)

- ① 鈴木信五・介護職
- ② 利用者様の誕生日にプレゼントを渡したら笑顔でお礼を言って頂けた事です。
- ③ トータス松本(ウルフルズ)
- ④ 家を建てて後は貯金です
- ⑤ 今まで以上に利用者様と職員が笑顔で過ごせる環境にしていきたいです。



奥山老人ホーム

(浜松市)

- ① 大橋沙世・栄養士
- ② 一人旅に行ったこと
- ③ Perfume
- ④ 自分用の図書館を建てる
- ⑤ 利用者の皆様の声に応えよりよい食事の提供を目指したい



各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
 ④ もし宝くじで1億円当ったら何に使うか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか



静岡県老施協 東部支部の活動について

静岡県老施協東部支部長 奥津匡俊

静岡県老施協東部支部の活動は、静岡県老施協と連動して高齢者福祉研究大会をはじめ、介護の日のイベントや合同防災訓練などの活動をしておりますが、東部支部の中心的な活動は、年2回の総会と研修会がセットとなっています。

一つには一泊研修会であり、最近は年明けの1月か2月に行なうことが多くなっています。一泊研修会は2日連日の開催として、毎年60名程度、懇親会参加者は30名程度であり、施設の新設・施設長の交代や変更などの情報交換や懇親のレベルを深めております。静岡県老施協では東部支部のみ一泊研修が残っていると聞いています。

最近の開催内容では

平成27年2月9・10日 伊豆畠毛温泉

研修内容

1日目 全国老施協 福間勉氏 時局講演 施設長向け

2日目 施設取り組み報告会 3施設発表 施設長・職員向け

平成28年2月1・2日 伊豆畠毛温泉

研修内容

1日目 (福)合掌苑 森一成氏講演 施設長向け

2日目 介護保険制度研究会 渡辺治平氏講演

施設長向け

静岡県高齢者福祉研究大会報告 3施設発表 職員向け

今一つは、新年度の総会・研修会です。東部では1980年代から静岡県民間社会福祉施設連絡会の児童・障害・老人の各部会の総会及び懇談会の同日開催で行なわれてきました。その後一時中断していましたが、静岡県経営者協議会東部地区経営協の働きかけで合同研修会及び懇親会が復活し、現在は同日に並行して3部会の総会が開催され、そのあと合同で東部地区経営協の総会・研修会・懇親会の開催となっています。種別を超えた施設協議会が一堂に集まる機会として、貴重な活動と言えます。

本年度は平成28年6月8日に開催ですが、写真は前年の合同研修会の様子です。

その他、最近は東部支部内の各市町や地区ごとのイベントや合同訓練、近隣施設同志の合同研修会などの活動も活発になって来ており、今後は地域貢献活動や地域ケアシステムの中で、ますます重要な活動となって行く事が期待されています。



特養委員会

静岡県老人福祉施設協議会

特養委員会 委員長 青野容幸

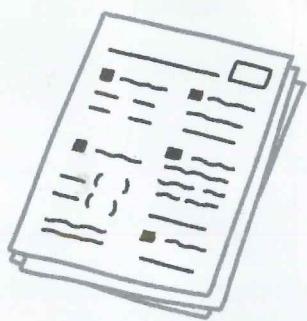
特養委員会で引き続き委員長をやらせていただきま
すおおつか苑の青野です。会員の皆様には、日頃より
当委員会の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。
今年度もよろしくお願ひいたします。

特養委員会の活動としては、毎年度調査研究と研修会をやらせていただいております。平成28年度につい
ては、調査研究とし

て①県特養優先入所
指針の見直しについ
て②特養におけるた
んの吸引等の実態に
ついての二つを実施



する予定です。平成27年度の介護保険制度の改正により、特養入所が原則要介護3以上となったこと、またサービス付高齢者住宅を含む入所系の高齢者施設が増加していることにより、特養の待機者は激減しております。空部屋が出ている施設もあると聞きます。このような状態の中で必要とされる特養を目指していかなければなりません。特養委員会としても会員の皆様に役立つ調査研究をしていきたいと思いますので、ぜひご意見等をお聞かせいただきたいと存じます。事務局、お近くの特養委員会委員へお話しいただければ検討いたします。また今回の調査研究では、皆様にアンケートをお願いすると思いますのでご協力をお願いいたします。



研修会については、平成26年度、平成27年度と看取りケアの研修として石飛幸三先生に講師を依頼して実施しました。おかげさまで大変好評であったと思います。看取りケアのように特養に関係の深い研修会を考

えていきたいと思
いますが、研修委
員会・他の委員会
と調整をとりなが
ら、研修テーマを
決めていきたいと
思います。研修会

についても皆様からご意見をいただければ幸いです。

特養委員会は、特養の特別委員会ですので調査研究・研修会とも特養の皆様に役に立つような委員会でありたいと思います。現在特養は年々厳しい経営をせまられており、会員全員で団結して乗り切っていきたいと思います。

(おおつか苑 施設長)



石飛幸三医師による看取りケアの研修 平成26年11月13日

平成28年度 老施協活動報告

【老施協】

- ★正副会長会議 28年4月14日
平成28年度会務運営の方向
- ★事業推進検討会議 28年4月28日
各委員会活動計画案の調整
- ★第1回理事会 28年5月10日
平成27年度事業報告書（案）並びに収支決算書（案）、監査報告、委員会委員の選任について
- ★平成28年度定例総会 28年5月27日
平成27年度事業報告書（案）並びに収支決算書（案）、監査報告

【企画経営委員会】

- ★28年4月22日 平成28年度活動計画、機関紙「しづ老施協」の編集、企画の協議
- ★28年6月29日 調査研究テーマ、機関紙の編集

【研修委員会】

- ★28年4月18日 平成28年度活動計画、研修計画
- ★28年5月27日 研修計画の具体化
- ★28年5月27日 施設長研修会「合掌苑の採用・育成」
*講師 社会福祉法人合掌苑理事長 森 一成氏

【21世紀委員会】

- ★28年4月21日 平成28年度活動計画
- ★28年5月16日 接遇マナー研修について、グループ討議項目、各部会の組織編制について
- ★28年6月14日 グループ討議、今年度の事業について
- ★28年7月1日 接遇マナー研修会
*講師 接遇インストクター 森田素子氏

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★28年6月1日 要員体制、班別業務内容等について

【特養委員会】

- ★28年4月21日 平成28年度活動計画

【在宅委員会】

- ★28年4月25日 平成28年度活動計画
- ★28年6月9日 活動計画、研修会の内容



編集後記

先日施設の福祉祭りが行われ、その中のアトラクションで紙切り作家による実演が行われました。季節の話や物語を朗読しながら次々に想像だけで一枚の紙から小さなハサミで人物や風景を作成しました。見事なまでの出来栄えに入居のお年寄りや見る人たちも感動していました。芸術は「感性」だと改めて思いました。（堀内）

4歳の孫が、「ことわざカード」を持ってやって来た。読むから答えてという、鬼の目にも？と言うので「目薬」とわざと答える。違う涙だよ！と得意顔、寝る子は？「病気」と答える、違う育つだよ！猫に？「鰯節」。ブ～、小判！と元気な声。4歳の記憶力、高齢者の認知症いすれもスピードは早い、認知症は早期発見、初期の支援が大切である。

（奥川）

今年の「しづ老施協」はちがう。企画経営委員会のメンバーも変わり、内容も見直し、新たな気持ちでのスタートだ。特に今年の企画経営委員会は「戦う企画経営委員会」として固い決意で出発する事が出来た。「しづ老施協」も読み応えのある紙面をめざし、老施協の様子をお届けしていきたい。掛け声倒れとならぬようがんばらねば。（三輪）

新加入施設紹介

地域密着型特別養護老人ホーム

ノアノアテラス

法人名 社会福祉法人 ウェルネスケア
 開設日 平成27年5月15日
 (入会申込 平成28年4月1日)
 施設長 及川 ゆりこ
 所在地 沼津市大平字出水2084-1
 入所定員 29名 短期 20名
 デイサービス 20名



特別養護老人ホーム

まごころタウン*静岡

法人名 社会福祉法人 まごころ
 開設日 平成27年5月1日
 (入会申込 平成28年4月1日)
 施設長 杉山 喜与英
 所在地 静岡市駿河区弥生町4-26
 入所定員 100名 短期 20名
 デイサービス 20名

特別養護老人ホーム

白梅下石田ホーム

法人名 社会福祉法人 白梅福祉会
 開設日 平成25年4月1日
 (入会申込 平成28年4月1日)
 施設長 褒田 康
 所在地 浜松市東区下石田町1588-1
 入所定員 110名 短期 30名
 デイサービス 29名



(お詫び) 6月の新規加入施設「伊豆天城ハウス」「するが荘」「天竜厚生会城北の家」につきましては、紙面の都合上、次号に掲載させて頂きます。

平成28年度熊本地震義援金について

4月に発生した熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

このたび、静岡県老施協会員の皆様からお寄せいただいた募金総額は

3,612,763円 になりました。

お預かりした募金は、全国老人福祉施設協議会及び日本赤十字社静岡県支部、静岡県ボランティア協会を通じて、被災地の復旧支援活動に充てさせていただきます。ご協力に対し深く感謝を申し上げます。



日本赤十字社静岡県支部 橋本知之事務局長(右)